

景観学習教室の様子(平成27年度実施)

	学校・施設名	対象学年／人数	実施時間	講師
1	南部町立 福田小学校	3年／31名	2コマ(+3コマ)+3コマ+2コマ	月舘敏栄氏 (八戸工業大学大学院教授)
2	東北町立 第一小学校	4・5年／14名	2コマ	河村信治氏 (八戸工業高等専門学校教授)
3	三沢市立図書館	6歳～大人／7名	10:00～12:00	北原啓司氏 (弘前大学大学院地域社会研究科長)
4	鯉ヶ沢町立 西海小学校	4年／23名	2コマ	石澤暁夫氏 (株エーアイサイン代表取締役)

授業の流れ・様子(例：南部町立福田小学校「景観かるたづくり」)

①事前授業(7月9日,3～4時間目)

○「景観」とは何か,まちの見方について講義・一般的なかるとの紹介

導入



●自分たちが地域の景観について学んでいる様子



●「景観」を身体を使って表現する「景観体操」

準備物品：プロジェクター(県都市計画課)、スクリーン(学校)、パソコン(講師)

②まち歩き(9月17日,2～4時間目)

○「まち歩き」の注意事項やデジカメの使い方について説明

○グループごとに地区に分かれてまち歩きをし、デジカメを使って自由に撮影

題材探し



●まち歩き等について説明を受けている様子



●「絵札」になる景観をたくさん撮影

準備物品：デジカメ(県都市計画課、講師、学校、保護者)、パソコン(県都市計画課)

※まち歩きは9/9を予定していたが雨天のため17日に延期。9日は校内から見た景観をスケッチし、好きな景観、嫌いな景観について発表を行った。

③かるた作り開始（10月9日, 5～6時間目）

○まち歩きでの題材探しを終え、グループごとに読み札を考える

情報整理



●グループで話し合いながら読み札を考えている様子



●景観シートに読み札を書き込んでいく



●出来上がった読み札を「あ」から「わ」の順に並べ、みんなで確認

※事前に宿題として撮影した写真を絞り込み、景観シートを作成

（撮影した写真は県都市計画課で印刷し、小学校へ郵送）



↑「景観学習教室」としては以上で終了。

かるた作り及びまとめ作業については、学校が主体となり総合的な学習の時間を活用して実施。



【景観学習教室を終えて・・・】（H27年度景観学習教室感想文より）

●先生の声

子どもたちから、また自分たちの周りの風景の写真を撮ってみたいという声が出てきました。

子どもたちにとって、身近な風景に対する見方を変えるきっかけとなり、とても有意義な学習でした。

●保護者の声

実際に街を歩いてみると普段何気なく通り過ぎる景色、風景に違いを感じることができました。景観学習を肌で体感でき、非常に良い経験となりました。

●子どもたちの声

景観学習で初めて景観のことが分かって、写真を撮るのが好きになりました。これからもっと風景を撮りたいと思いました。